

特集
まちとアート

MESSAGE

私がストリートピアノを弾く訳

私は4歳の頃、兄の影響でピアノに憧れを抱き、弾き始めました。音楽大学を卒業するまでずっとピアノとともに過ごしてきましたが、就職後は全く触れる機会がなくなりました。

会社に入ってから、心身の不調で半年ほど休職し、自宅に引きこもっていた時期がありました。そんなある日、仲の良かった会社の先輩が「ストリートピアノを弾いてみない？」とLINEをくれたのです。外に出るきっかけを探していた私は、その一言に背中を押されて、新宿の都庁に設置されたピアノを初めて弾いてみることにしました。

それまでは、友人と遊ぶ予定があっても、メイクまでしてドアの前で立ち尽くしてしまうほど外に出るのが怖かったのですが、ピアノという大好きなものを通じてなら外に出られたのです。最初は人前で弾くのがとても怖かったのですが、「ストリートなら誰も聴いていないかもしれない」と気負わずに始めることができました。

ストリートピアノは、人生を変えてくれるような存在でした。発表会やコンクールのような緊張感とは異なり、あ

りのままの自分で自由に演奏できる場所。それが私を再びピアノの世界へと導いてくれました。

今では音楽ホールなどでも演奏する機会がありますが、ストリートピアノにはまた違った魅力があります。メンテナンスが行き届いた一流のピアノとは異なり、野ざらしで音が出にくかったり鍵盤が剥がれていたりすることもあります。そうした一期一会の出会いも含めて、すべてがいとおいしいのです。まるで高級フレンチとB級グルメのように、それぞれの良さがあると思います。

ストリートピアノの魅力は、通りすがりの他人と心を通わせることができる点にあります。出会って数秒や数分の方が、「今日は結婚記念日なんです」とか、「亡くなった母が好きだった曲なんです」と話してくださり、それに対して私が音楽で応える——そういった温かい交流が、街中で自然に生まれるのはとても特別なことだと思っています。たった1台のピアノがまちにあるだけで、人の心が深くつながる場所が生まれるのです。

また、ストリートピアノを通じて、人々が立ち止まり、一

瞬のコミュニティが形成されるのも魅力です。買い物帰りの人、学校帰りの学生、観光客など、普段は他人同士で交わることのない人々が、同じ演奏を見て感じて癒やされる。そのわずかな時間に流れる空気はとても豊かで、強制力のない、ゆるやかに繋がる空間は心地よさを生んでいます。立ち止まってもいいし、素通りしてもいい。その自由さもまた、ストリートならではの魅力です。

私自身も、まちを歩いていてストリートピアノを見かけると、立ち止まって聴くことがあります。プレイヤー同士の交流は頻繁ではありませんが、すれ違いざまに「素敵でした」と声をかけ合うこともあります。ときには海外で、突然の連弾が始まることも。たとえばフランス・リヨン駅では、視覚に障害のあるピアニストの方とセッションをし、その後たくさんお話をしました。ロンドンでは、小さな子どもが完璧に『ボヘミアン・ラブソディ』を弾いていて、話しかけたら一緒に連弾が始まったり。日本よりも海外の方が交流が生まれやすい面もありますが、どこであって心を通う瞬間は本当に素敵です。

ストリートピアノに限らず、壁画やキース・ヘリング、バンクシーのようなストリートアートも同じです。お金を払わなくても誰も見られるアートは、平等で敷居がなく、日常に溶け込んでいます。有名になることが目的でなく、ストリートで表現すること自体が素敵で、もっと日本でも寛容に受け入れられるようになればいいと思います。

もちろん、ストリートという場は自由な表現の場ですが同時に、不特定多数の人々の目に触れる公共空間でもあります。演奏する側は「お客さんに見せる」というよりも、「誰かの生活の一部に偶然入り込む」という意識を持つことが大切だと感じています。私も、通行の邪魔にならないよう配慮しながら演奏しています。

ストリートにただピアノが置いてあって、誰かがそのピアノを弾くことで人々の交流やまちの活性化になって、日常に彩りが生まれるのは素晴らしいことだと思います。これからさらにストリート文化が発展して、アートの発信も増えていけばいいと思います。



ハラミちゃん
Harami chan

プロフィール

「ピアノを身近な存在にする」を目標に活動している。絶対音感、即興演奏などの特技を活かし日本全国、世界各地のストリートピアノ動画で人気急上昇中。

1度聞いただけで何の曲でも弾ける「耳コピ技」が話題となり、ミュージックステーション、しゃべくり007、世界一受けたい授業など多数のテレビ番組に出演。

国立音楽大学卒業後にIT企業の会社員を経て、2019年から「ハラミちゃん」として本格的な活動を開始。

YouTubeの登録者数は約229万人、動画総再生数は9億回以上。2021年には日本武道館にて女性ピアニストとしては14年振りフジ子・ヘミング（敬称略）ぶりとなる単独公演を成功させた。デビューCD「ハラミ定食〜Streetpiano Collection〜」ではBillboardランキングjpop部門においてピアノアルバムとしては異例の1位を記録。

現在全国20ヶ所を巡る「ハラミちゃん全国ピアノツアー2025～あなたの街に名曲お届けするぬ！～」を開催中。

12/7（日）には国際フォーラム・ホールAにてツアーファイナル公演を開催予定。各プレイガイドにてチケット発売中。

「ハラミちゃん 47都道府県ピアノツアー～特急ハラミ号、出発進行だぬ！～東京FINAL!!」東京ガーデンシアター（写真：avex）